

現状と課題

脱炭素の切り札と呼ばれる洋上風力発電。2050年カーボンニュートラルを実現するためには、広範なエリアをより効率的かつ精度よく調査し、施設の建設をスムーズに推進する新たな地盤調査技術の導入が不可欠です。応用地質グループでは、洋上風力発電の先進地域である欧州仕様に適合した最新の調査技術から施設建設後の維持管理モニタリングまで、拡大する洋上風力発電市場に最適化した各種ソリューションを提供しています。

最先端の海底地盤調査技術

広域な海底を効率的に調査するためには音波探査技術が不可欠ですが、従来の手法では欧州仕様の設計基準に未対応であり、また一度の航行で複数のデータが取得できず非効率であるなどの課題がありました。応用地質グループでは、日本初となる欧州仕様に適合したシステムや、1回の航行で幅広いエリアのデータを取得可能なSingle-Pass Surveyの音波探査技術により効率的な海底地盤調査を支援しています。

社会課題

- ・地球温暖化
- ・カーボンニュートラル

OYOグループの役割

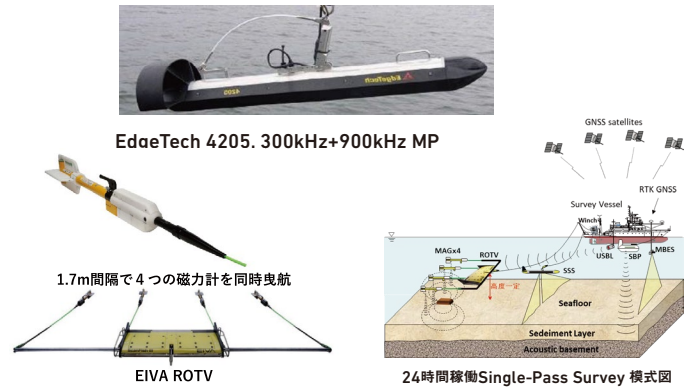
- ・高効率、高品質な海底地盤調査サービスの提供



Single-Pass Surveyの実現

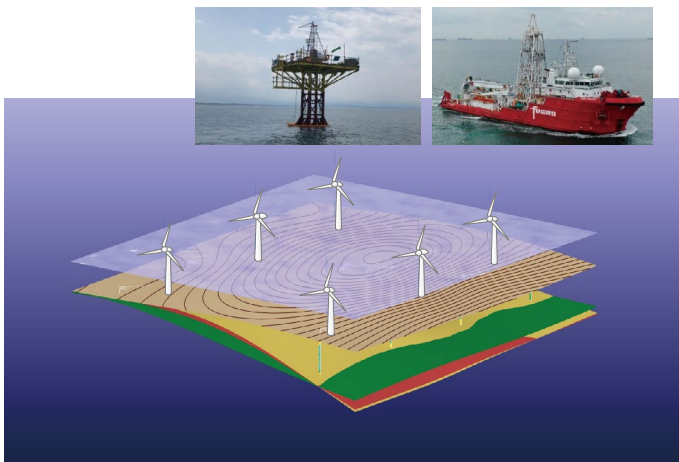
海底調査では1測線1回航走で全データ取得

※現場調査時のCO₂排出量を大幅に削減



海底地盤データを3次元で提供

応用地質グループでは、海底物理探査や海上ボーリング調査、CPT、室内土質試験で得た海底の地盤情報を立体的な3次元地盤モデルに統合し、その後の合理的な基礎構造の設計や関係者間のリスクコミュニケーションにご活用いただいております。



洋上風力発電施設の維持管理に向けた、新たな取り組み

応用地質グループでは、建設時の地盤調査だけでなく、施設運用中のケーブル保全のためのモニタリングサービスや地域との良好な共生関係を作る各種コンサルティングも行っています。

